

大気から CO₂ を効率的に回収・固定化する 新たな風化促進技術“A-ERW”の現地見学会を実施

【概要】

8月25日（金）、北海道鹿部町にて「岩石と場の特性を活用した風化促進技術“A-ERW^{*1}”の開発」プロジェクトの現地試験を行います。シチズンサイエンスの観点から、鹿部町民の皆様をお招きし、モニタリング試験を兼ねた現地見学会を実施します。

*1 A-ERW … Advanced Enhanced Rock Weathering の略。

【「岩石と場の特性を活用した風化促進技術“A-ERW”の開発」プロジェクト】

「岩石と場の特性を活用した風化促進技術“A-ERW”の開発」プロジェクト（プロジェクトマネージャー：早稲田大学（東京都新宿区、理事長：田中愛治）の中垣隆雄教授）とは、2023年度から国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構のムーンショット型研究開発事業に採択された取組です。本プロジェクトは、大気から二酸化炭素（CO₂）を効率的に回収・固定化する先進的な風化促進技術“A-ERW”の開発を目的としたもので、北海道大学大学院工学研究院の佐藤 努教授らの研究グループは、岩石の風化により大気中の二酸化炭素（CO₂）を吸収する技術について研究を行っています。

（参考）

2022年10月19日付けプレスリリース「2022年ムーンショット型開発研究事業に採択 大気からCO₂を効率的に回収・固定化する新たな風化促進技術“A-ERW”の開発」

URL: https://www.hokudai.ac.jp/news/pdf/221019_pr.pdf

現地試験では、天然の岩石を休廃止鉱山や森林傾斜地に散布し、その風化による大気中のCO₂の吸収状況を確認します。先立って実施した本年5月23日開催の鹿部町民説明会では、本試験に関して多くのご意見やご質問をいただきました。これらご意見を踏まえ、今回の現地見学会では、鹿部町民の皆様に、実験の状況を雨鱒川試験場所等でご覧いただくとともに、協働でモニタリング調査を行います。

【日 程】 2023年8月25日（金）9時～12時、13時～16時の2回

なお、小中学生向けに8月15日（火）も実施予定です。

【集合場所】 鹿部町役場（〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町鹿部 252-1）

アクセス方法は、下記の鹿部町ホームページをご参照ください。

<https://www.town.shikabe.lg.jp/choseijoho/shikabechonogaiyo/1271.html>

【主 催】 「岩石と場の特性を活用した風化促進技術“A-ERW”の開発」プロジェクト

【対 象】 鹿部町民（25日は2回に分けて実施、各回5人計10人程度）

【プログラム】 ①9：00 ②13：00 町役場発。雨鱒川試験場所に車両で移動

①9：40～ ②13：40～ 試験場所着実験概要説明（岩石散布状況等）、pH測定、重金属分析等の実験実施。他3カ所でも行う。

①12:00 ②16:00 町役場解散

【ご 注 意】 現地は山間部であり、道路事情やクマの出没に配慮する必要があります。

お問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院 学術研究員 竹田宜人（たけだよしひと）

T E L 011-706-6305 F A X 011-706-6305 メール ytakeda@eng.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp